学校番号	１００４

令和８年度　理科

教科	理科	科目	物理演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・学習はあくまでも主体的に取り組んでください。
・発表などを中心に行います。
・家庭学習をする際は、疑問に思ったことをメモし、自分で調べたり質問したりするなどしてその都度解決するようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
　物理学の基本的な概念や原理・法則を理解する。
【思考力、判断力、表現力等】
　学んだ物理的な知識を用いて身の回りの様々な物理現象について考える力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
　日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，物理学的に探究する能力と態度を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	空間･時間･物体･運動を考察の対象として認識できていることを踏まえ、物理的な知識や物理法則について、理解できていること。	空間･時間･物体･運動を思考の対象とし、その中に存在する法則性について論理的に理解すること。	日常生活における体験や社会･文化･思想的背景との関連の中で、自ら課題をもって科学的に探求しようとする姿勢の確立。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	様々な運動	剛体のつりあい	a:　力と円運動･単振動についての基本的関係を理解する。 b:　座標の取り方によって運動をどのように表現するのか考察する。 c:　様々な円運動、単振動について意欲的に探求しようとする。	中考査	中考査 パフォーマンス課題	パフォーマンス課題 振り返り
		運動量				
		円運動と単振動				
		万有引力				
二学期	熱	熱エネルギー	a:　内部エネルギーについての基本法則を理解する。 b:　分子運動と温度･圧力の関係を考察する。 c:　熱と分子運動の関係について意欲的に探求しようとする。			
	波動	波の基本的な性質 発音体について　共鳴 ドップラー効果	a:　波についての基本法則の理解。 b:ドップラー効果や波の干渉について考察する。 c:数式を使って波について理解しようとする。			
三学期	電気と磁気	電流と磁場	a:　ファラデーの法則をはじめ、電場と磁場についての基本法則の理解。 b:　場の概念、電場と磁場の関係ついて考察する。 c:　電波についての意欲的探求			
		交流と直流				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度